

みらいのわたし

令和 4 年 6 月 2 日(木)

発行

大田区立志茂田中学校

生活指導便り No.2

昇降口に思う・・・

先日、蒲田駅付近でポイ捨てされたゴミを集めている清掃員の方を見ました。そして、その数メートル先で、タバコやペットボトルをポイ捨てしている集団がいました。

想像してみてください。皆さんはどう感じますか？

全校生徒がそろっての運動会。練習期間の天気が不安定で校庭がぬかるんだ状態での練習が多々あり、皆さんの下校後、昇降口付近が砂だらけになっていることもありました。たかが昇降口の砂。しかし、それに対してどんな行動ができるかは、その人の心を表すと感じます。

練習のたびに砂を落とすよう呼びかけがあり、また自主的にボランティアで掃き掃除や拭き掃除をしてくれる生徒もいました。



昇降口は毎朝用務主事さんが、放課後は担当クラスの掃除当番が掃除してくれます。使えば汚れるのは当たり前。しかし、「どのように使うか」に、思いやりや感謝の心を表すことができます。教室で出る消しゴムのかすも同様。掃除当番はいるけれど、手で床に払い落とす人と、まとめて授業後にゴミ箱に捨てる人。

ルールとして誰かに強制されての行動ではなく、相手を思いやり考えることで、様々な行動は変わるはずです。

と、こんな記事を書いている最中に残念なことがありました。生徒の皆さんには既に伝えたとおり、昇降口にガムが吐き捨てられているということがありました。私の知る限り志茂田中でこのようなことは初めてです。残念でしかありません。多くの生徒驚きの声を上げていました。「それ志茂田中の生徒ではなく、部外者じゃないですか？」というような声も多くありました。

ガム、消しかす、砂。程度の差はあれども、それを平気で捨ててしまう心には、残念ながら通じるものがある気がします。少なくとも皆さんには、掃除をしている方を横目にポイ捨てをするような人にはなってほしくないし、ガムを吐き捨てるような人にならないでほしいです。今後も校舎のきれいさはもちろん、キレイな心が広がる志茂田中を大切にしていきたいと思います。



夏季服装特別規定

今年度より衣替えは廃止し、気候に合わせた服装を選択できる変更については先だってお伝えしました。

さて昨年、一昨年に引き続き、熱中症の予防、教室換気に伴うエアコンの温度設定などに関連して、夏季服装特別規定を設け、ジャージや体育着を授業日に着用して良いとしました。急激な気温上昇の状況を鑑みて、6月6日(月)より開始とします。規定の終了日については改めてお知らせします。ご不明な点をご遠慮なくお問い合わせください。



- * 体育の授業がある日はこれまでどおり体育着やジャージでの登校となります。
- * 白のワンポイントシャツを着替えとして持参してもよい。登校時からの、白のワンポイントシャツの着用は原則認めない。
- * 着替えとしての夏服着用も可能だが、上がYシャツ、下がハーフパンツなどの混在した服装は不可。

5月の情報モラル教育

5月も各学年で「情報モラル教育」を実施しました。ご家庭でも話題にしていただけたらと思います。

1組 「スマートフォンでの課金トラブルについて」

スマホでの課金について、お金や時間を使いすぎる危険性を勉強しました。1組では、在籍生徒の約2/3が「スマホを持っている。」と答え、スマホを持っている生徒の中で約半数が「アプリなどに課金をしたことがある。」と答えました。中には「〇〇円も課金して親に怒られた。」と答える生徒もあり、身近な課題であることを改めて確認できました。スマホでの課金のように紙幣や硬貨を使わない方法では、いくらでもお金を使ってしまう感覚になりがちですが、冷静に仕組みを理解して、節度ある行動を身につけましょう。また、家庭でのルールを保護者とよく確認し、自分のお小遣いの範囲であっても、必ず相談しましょう。(文責:清水)

1学年 「スマートフォンでの課金トラブルについて」

気づかぬうちにゲームのアイテムやスタンプなどを買いすぎて、課金をやり過ぎて大変な状況になる中学生は少なくありません。今回の題材は、中学生にとって現実起こりえる内容を取り上げました。登場人物が課金をやめられない理由や、スマホで課金するときに気をつけなければならないことなどを考えて学級全体で共有しました。生徒の意見の中には、「無駄な買い物はしないこと」、「プリペイドカードで制限をかけておくこと」、「月に使える金額を親と相談して決めておくこと」、「1週間ごとに使った金額を親と確認した方が良い」などが挙げられました。生徒自身が多くの解決策を意欲的に考えることができた授業となりました。(文責:湯木)

2学年 「トークアプリ依存」

今回は【トークアプリ依存】についての学習をしました。動画視聴を始める前にいくつか質問したところ、学級内では全員がトークアプリを使用したことがあることに驚きました。(余談ですが私が中学2年生の時はもちろんトークアプリはありませんし、携帯電話を持っている友人は学年の半分以下だったと思います)。皆さんが LINE などのトークアプリを日常的に使用するものだというのを再認識しました。日常的に使用するものだからこそ些細な事でトラブルになることや、依存してしまうこともあるようです。今回の学習を通して「人の気持ちを考える、時間(ルール)を決める」など一人ひとりが依存しないための解決策を考えました。また、志茂田中学校では SNS ルールがあるのでもう一度再確認しようといういい機会となりました。(文責:小川)



3学年 「グループトークでいじめ」

グループトークでの軽はずみな言葉がきっかけとなり、大きなトラブルに発展していくという動画教材を視聴しました。「こんなことしないで」「あまりに浅はかすぎる」などという反応が3年生からはありました。また「こんな暇ないし」という感想を述べている生徒がいました。

3年生ともなると、LINEなどのトークアプリをいつまでも使用し、時間を浪費している生徒は少ないようです。また再三注意されてきている SNS などの使用について、十分にその危険性を理解している生徒が多いように感じます。

SNS トラブル0(ゼロ)を掲げ、「いじめは絶対許さない」「相手の気持ちに立って考える」ということを大切にしながら、これからも過ごしていきましょう。(文責:平沼)

はさみの取り扱い

志茂田中学校では不要なトラブルを避けるため「授業に必要なものは持ってこない」としています。逆に必要に応じて、文具などは特別な指定はありませんが、刃物については注意が必要で、万が一の大きな事故になってからでは遅いと考え、改めて確認です。

- ・はさみについては、不必要に机に出さず、キャップをつける。/ケース等に入れるとして、安全に使う。
- ・カッターについては、必要な時は授業内で貸し出し等を行うので、持ってこない。確認をよろしくお願いします。

